

# 平成 26 年度 キャリア教育講座

平成 26 年度第 1 学年キャリア教育講座を実施しました。たくさんの地元企業、機関にご協力をいただき、多くの生徒の訪問を受け入れていただきました。大変ありがとうございました。

1. 目的 実際の職業見学を通して職業人としての在り方・生き方を学び、高校生としての職業観を身につける。また、その職業に至るまでのプロセスを理解する。

2. 日時 平成 26 年 7 月 17 日 (木)

3. 訪問先一覧

	訪問先	内容
1	佐藤・野条・小島法律事務所	・弁護士としての仕事内容説明 ・資格取得について ・高校時代に身につけたいこと
2	福井地方裁判所	・裁判官についての説明 ・法廷見学（傍聴） ・ビデオ視聴
3	福井新聞社	・新聞記者に求められること ・国際的な情報と地元情報の整合 ・紙面作りについて
4	福井県立大学 経済学部	・経済学が将来どのような職業につながっていくか。 ・経済学を学んだ者として（経験から）
5	福井大学大学院 教育学研究室	・心理学の実験室で心理学の実際を体験 ・教職大学院の院生と小グループで語り合う
6	福井総合病院	・ 4つのコース（医学・薬学・看護学・理学療法）に分かれての講習
7		
8		
9		
10	福井県農業試験場	・研究内容説明 ・農業新ビジネス創出について
11	福井大学大学院 工学研究科	・研究室見学 ・実習
12	テクニカフクイ	・会社説明・ビデオ視聴 ・工場見学 ・講義、質疑応答 ・実習「紙コップスピーカー作り」
13	田中化学研究所	・電池に関する講義、電池の分解実験 ・工場見学 ・質疑応答

### 【佐藤・野条・小島法律相談事務所】



今まで弁護士という仕事について聞いたことはあったし、ドラマとかでもよく見るので知ってはいましたが、実際にどのような事件を取り扱うのか、どんな資格をとればなれるのか、どんな仕事をするのかは詳しく知らなかったの、とても楽しかったです。それから、先生のお話の中で、「お金目当てより、仕事が好きでやっている人の方が多い」という言葉がとても印象的でした。心から人の役に立ちたい、弱い立場の人を守りたいという強い意志があるからそう思えるのかなと思いました。今回の講座で弁護士という仕事にとっても興味が湧きました。是非、弁護士について他の様々なことについても調べてみたいです。

### 【福井地方裁判所】



裁判所ではまず、裁判所で働く人について聞きました。裁判官が13人で、スタッフが150人以上という少なさと多さ、両方に驚きました。やはり裁判所なので、法学部出身がほとんどだと思っていたけれど、いろんな方向から物を見るという為文系・理系出身どちらの人も働いていると知りました。また、今回初めて現実の裁判を見ました。集中して聞いているとあっという間に終わってしまいました。法曹三者それぞれが自分の役割をきっちりと行って、どの人もかっこよく見えました。法曹三者になるには、「大学院」→「司法試験」→「司法修習」→「二回試験」→「採用試験」という順番に進んでいかなければいけないと聞きました。司法試験合格で職につけると思っていたけれど、多くの段階をふみ、法曹三者になるというのが大変だと思いました。裁判所で働く人と対話する機会は滅多にないので、良い経験になったと思います。

### 【福井大学大学院教育学研究科】



私が話を聞いた大学院の方は、週3回中学校を訪れ、週1回集まって経験したことを報告しあうそうです。中学校では年が近いこともあって他の先生よりも生徒から相談を受けることが多いそうです。生徒の悩みを聞いて解決することはできなくても、一緒に悩んであげることで心を軽くしてあげられるということを知りました。自分の話を聞いて一緒に考えてくれる、そのような存在になりたいと思いました。また、自分だけで解決するのが困難なときには他の人に協力を頼んだりすることで解決に近づくこと、相手の気持ちを理解するため今のうちにたくさん経験を積むことなど、たくさん大切なことを学びました。人との関わりを大切にしていきたいです。



## 【福井県立大学経済学部】



今回のキャリア教育講座に参加して、経済学を学んだ場合の生活や就職先を知ることができました。さらに、経済学部の中にも国際金融論や貿易論などいろいろな分野があり、貿易と環境との関係性など、自分でテーマを決めて考えるのはおもしろそうだと経済学に興味が持てました。また、お話を下さった杉山先生は、海外で出張が増えていて、英語で発表や論文を書いたりするらしく、やはり自分の世界を広げるためには、英語を覚えなければならないと再認識しました。この講座で、文系に進む決心ができました。大学院の話や、学会について、また、心構えなど、いろいろ参考になるお話を聞けたので、参加して良かったと思いました。

## 【福井総合病院】



### 医学

病院はたくさんの職務から成り立っていて、人々を救うことが出来るということを実感しました。どの先生方も患者さんを助けるため必死になっていて、患者さんのことを一番に考えておられることが伝わってきました。そしてそのためにたくさん勉強されており、軽い気持ちでは就けない仕事でした。また、手術室に入れて、実際の現場を間近で感じることができました。テレビで見ているような軽い気持ちではなく、緊張した雰囲気でした。入った時すぐは怖かったけれど、小腸が動いているのを見て「命」の大切さを改めて感じました。生きているということの素晴らしさが伝わってきました。今回医学を選んでよかったと思いました。人を助ける仕事に就きたいと思いました。本当に良い経験ができました。ありがとうございました。



### 理学療法

理学療法について学びました。理学療法といっても、大きく3つに分かれているそうです。理学療法・作業療法・言語聴覚の3つです。体験したのは、理学療法でした。脳卒中によって、記憶障害になってしまった女性や右手に重度の麻痺が残ってしまった男性のリハビリをしました。腕に電気を流したり、カラーコーンのならべかえや部品の値段計算をしたりしました。また、理学療法を行うにあたり、覚えなくてはいけないことがたくさんあり大変そうだなと思いました。一人一人の患者さんのデータを取り、ずっと学び続けなくてはならないと知り、驚きました。将来自分もなれるといいなと思いました。

薬学 今日初めて薬局でどのような仕事をするのかが分かりました。粉薬、塗り薬、液薬を作るのを見学したり体験したりして分量や種類などが難しそうだなと感じました。器用さも求められるなと思ったけれど、実際に経験してみて楽しい仕事だと本当に思いました。ますますこの仕事に就きたいと思うようになりました。今はデジタル化が進んでいるからか、機械やコンピュータがたくさん使われていることが分かりました。バーコードを使って、薬の種類を判別したり、必要な情報を表示させたりするのが一番驚きでした。臨床薬理センターでは、治験をするということを初めて知りました。そこに限ることではないですが、企業の情報が漏れることは絶対にいけないそうなので、大事だけれど、大変な仕事だなと思いました。病院では治験だけでなく、個人情報を守るということも大切なんだなと思いました。様々なことを知ることができ、とても良い経験になりました。



### 【農業試験場】



私は「理系に進みたい」「訪問先リストの中で最も興味を持った」という理由で農業試験場を選びました。福井県の農業と言えばコメだけしか想像できなかったのですが、コメ以外にも果樹や花などの研究もしていたのは、私にとっては意外でした。私の家で食べているコメはコシヒカリなので、普段当たり前食べているお米はたくさんの苦勞があってできたものだということを知ることができました。今、農業試験場ではポストコシヒカリの研究をされているということなので、いつの日かこのお米が全国で有名になるのを楽しみにしています。今回の講座を通して、将来を考える視野が広がったと思います。研究職も可能性の一つとして大きなものになりました。

### 【福井大学大学院工学研究科】



大学の教授になるための道や、企業で研究するのと大学で研究することでの違いが分かり、とても参考となった。また、英語など今学校でやっている学習が将来につながっているということが感じられ、高校での勉強をもっと頑張ろうと思った。

研究室には研究のためのさまざまな機械があり、見ていてとても面白かった。こんな環境の整ったところで自分の好きなことを研究できたら楽しいだろうなと思い、研究職というのも将来の1つの道として考えてみようと思う。これから私が進んでいく道を決める上で、とても有意義な経験にすることができた。

### 【田中化学研究所】



自動車のバッテリーの材料を製作する上で、ほんのちょっとの不純物を混入しても製品として駄目なことから、チリなど持ち込まないなどのシビアな点や注意すべき点が多いことを学びました。電池の内部構造を分解を通して学ぶことが出来て良かったです。将来、仕事をする上では何事も手を抜かずに一生懸命取り組みたいと思いました。これからの人生でミスすることもあると思いますが、その度に負けずに頑張りたいと思います。